

業務案内 2026

CORPORATE PROFILE



人が創る、人が住む、
豊かな郷土づくり



一般財団法人 熊本県建設技術センター

KUMAMOTO CONSTRUCTION TECHNOLOGY CENTER

センターの取り組みと概要

一般財団法人熊本県建設技術センターは、公共事業の円滑な執行と建設関連産業の発展に資することを目的として、熊本県と市町村、建設産業団体からの出資により昭和59年に公益法人として設立され、公益法人制度改革三法に従い、平成25年4月から一般財団法人に移行しました。

これまで当センターでは、建設技術にかかる専門的な知識を習得するための研修、建設工事の品質確保に必要な材料試験、県・市町村支援のための積算の受託等の業務に取り組んでまいりました。

また、近年では、公共事業やインフラメンテナンス、防災・減災、国土強靱化の取組等に対応した研修会の開催や、発注者の働き方改革の推進及び公共工事の品質確保に向けた発注者支援業務に取り組んでいます。

今後とも、関係各位のニーズに的確にお応えできるよう職員一同誠心誠意努めてまいります。



1 概要

設立年月日／昭和59年3月27日(熊本県指令監第54号)

基本財産／18,000千円(自己資本14,000千円)

出損団体／県：2,000千円、市町村：1,000千円、建設業団体：1,000千円

敷地面積／12,305㎡(建物面積2,045㎡)

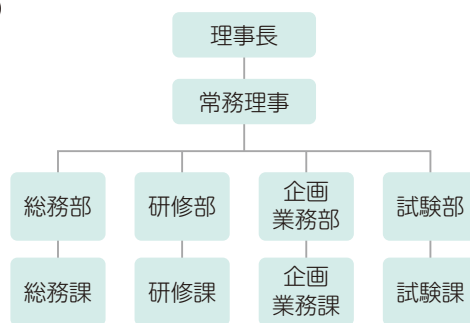
2 沿革等

昭和59年3月	財団法人熊本県建設技術センター設立 (所在地／熊本市神水2丁目)
9月	研修・試験棟の建設に着工(60年7月竣工)
昭和60年4月	熊本県工業試験場土木試験室の業務を継承
7月	研修・試験業務を開始(所在地／下益城郡城南町)
平成8年4月	地方公共団体等からの受託業務を開始
平成25年4月	財団法人から一般財団法人へ移行

3 事業内容(定款第4条)

- 1 建設技術者その他建設事業に従事する者の研修
- 2 建設事業に使用する資材の試験・調査研究ならびに広報活動
- 3 地方公共団体等の建設工事に関する技術審査、成果品審査、積算及び現場監督業務の受託
- 4 その他設立目的を達成するために必要な事業

4 組織

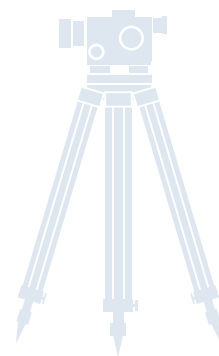


区分		事務	技術	嘱託等	合計
理事長		0	0	0	0
常務理事 (兼企画業務部長 兼企画業務課長)		0	0	0	0
総務部	総務課	0	0	0	0
研修部	研修課	0	0	0	0
試験部	試験課	0	0	0	0
企画業務部	企画業務課	0	0	0	0
合計		0	0	0	0

令和8年4月1日 現在(単位：人)

()は県派遣職員の内数

県、市町村、建設業、測量設計業及び地質調査業等の職員を対象に、次の研修を実施しています。



1

一般研修 [建設技術等の知識習得を目的とした研修]

主な 研修内容

- 工事積算、測量、施工管理等
- コンクリート及び舗装等の材料・品質管理
- 道路、橋梁、河川、砂防等の計画・設計、点検、維持管理等
- インフラDX
- 1級土木施工管理技士(1次)受験対策講習会等

2

実務研修 [パソコン等を使用したCAD等の操作習熟等を目的とした研修]

主な 研修内容

- 電子納品の検収及び作成
- CADの操作
- 遠隔臨場基本操作

なお、土木学会及び土木施工管理技士会連合会の継続教育制度(CPD,CPDS)の認定にかかる申請も行っています。



大研修室(講義)



ボーリング調査の実演



小研修室 CALS/EC実習



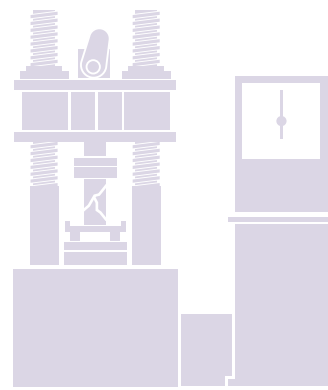
橋梁点検現地実習

※研修室の貸付も行っています。詳細については、当センターホームページをご覧ください。

試験 業務

QUALITY
TESTING

建設工事の適正かつ円滑な執行を囲ると共に、品質確保のため、工事で使用する材や審査を行っています。



1

試験 [コンピュータ制御による最新の機器で試験を行い、信頼のあるデータを提供]

試験区分

試験項目

コンクリート
関係試験

圧縮試験、曲げ試験、引張試験、中性化探さ試験、静弾性係数試験、硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験、練り混ぜ水(回収水及び上水道水以外の水)試験等

アスファルト試験

コア密度試験、コア抽出ふるい分け試験、アスファルト回収試験、針入度・軟化点・伸度試験、マーシャル安定度試験等

骨材試験

密度・吸水率試験、ふるい分け試験、単位容積質量試験、微粒分量(洗い)試験、有機不純物試験、すりへり試験、安定性試験、敷石量試験、粒形判定実績率試験、舗装用フィラー・石粉試験等

土質試験

土粒子密度試験、含水比試験、粒度試験、液性限界・塑性限界試験、突固め試験、CBR試験、一軸圧縮試験、締固めた土のコーン指数試験等

その他の試験

割ぐり石・石材関係試験、比重・吸水率、圧縮強度等



は、産業標準化法に基づく試験事業者登録制度の標章です。当センターは、コンクリート・セメント等無機系材料強度試験区分の登録試験事業者で、140356JPIは当センターの登録番号です。

製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号

【試験方法規格】

JAS A 1106 (ただし、供試体作製を除く)

JAS A 1108 (ただし、供試体作製及び付属書 I を除く)

【これらを引用する規格】

JAS A 5308 9.2.1 及び 9.2.2

2

アスファルト事前審査



県の公的試験機関として、「熊本県アスファルト混合物の事前審査要領(令和4年4月改訂)」に基づき、アスファルト混合物の適正且つ安定した品質の確保を図ると共に、発注者及び製造所の業務の合理化、省力化等の支援をしています。

主な
試験項目

- 書類審査
- マーシャル密度・安定度試験
- アスファルト抽出試験・抽出後の骨材ふるい分け試験
- アスファルト混合所立入り調査確認

受託業務

CONTRACT

県・市町村等が公共事業を適正で円滑に執行できるよう、様々な業務を平成8年度から受託しています。



1

積算業務 [公共工事の発注に必要な積算業務を受託します]

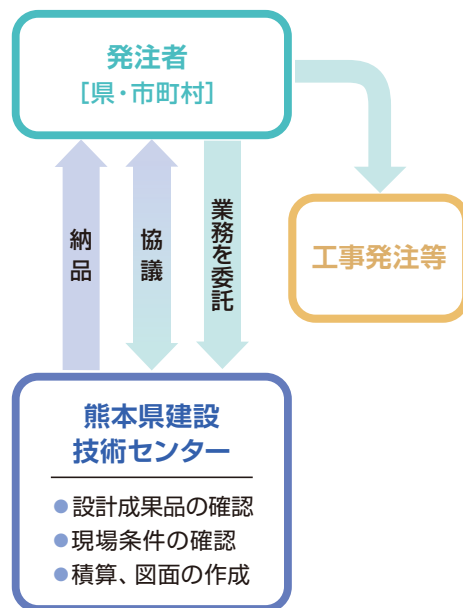
主な
運用工種

- 道路改良、橋梁上部工・下部工
- 橋梁補修、河川護岸、砂防堰堤 等
- 災害査定設計書

期待できる
効果

- マンパワー不足の解消・低減
- 積算の精度向上
- 公共工事の品質確保等

[業務イメージ]



2

設計等支援業務

公共事業の計画・設計段階において、技術職員の育成をはじめ、業務が適切かつ円滑に進むよう設計業務委託仕様書の作成補助や設計協議の同席による助言等を行います。

熊本県建設
技術センター

- 設計成果品の確認
- 現場条件の確認
- 積算、図面の作成

3

橋梁点検業務 [地域一括発注・代行]

市町村が行う橋梁定期点検業務をセンターが代わって行います。

[業務イメージ]



- センターは、市町村に代わって橋梁定期点検を調査業者（設計コンサルタント等）に発注し、協議、監督及び検査をします。
- センターは、調査業者の調査結果（点検及び健全性の診断結果）を市町村に引き渡します。

■ 導入効果

- 事務の負担軽減（設計書作成、入札手続き、監督・設計協議・検査等）
- 診断結果の精度向上
- 長寿命化修繕計画への適切な反映

4

その他

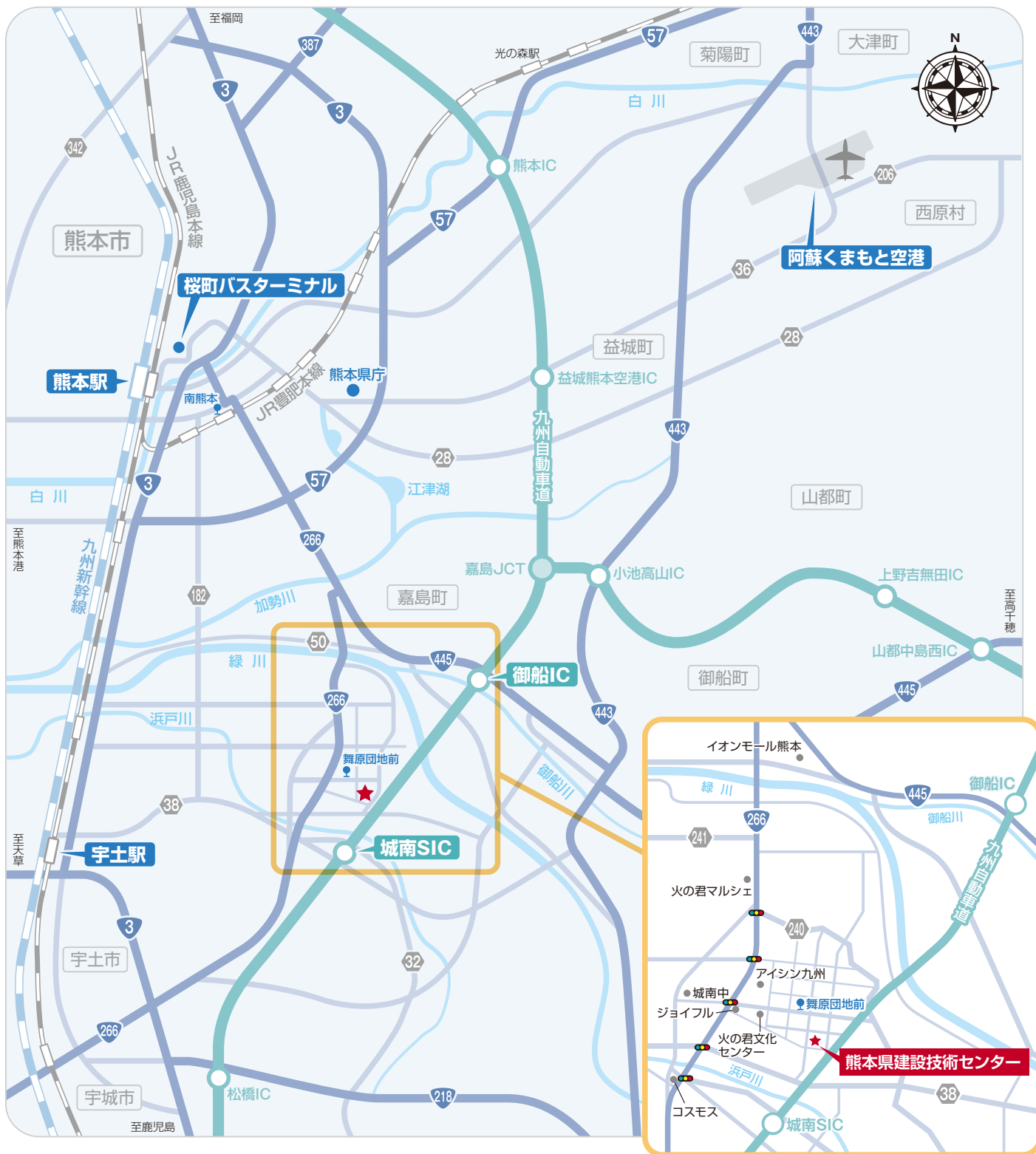
- 1 総合評価技術審査補助業務…… 総合評価方式で発注する工事等にかかる技術審査（評価基準や評価）資料作成の補助
- 2 総合評価事前登録補助業務…… 総合評価方式にかかる企業等の事前審査
- 3 現場監督業務…… 公共工事の工事監督補助
- 4 成果品審査業務…… 設計委託成果品の審査・助言

相談窓口

発注者支援に関するご相談があれば、お気軽にご連絡ください。

[企画業務部] TEL.0964-42-9030

ACCESS MAP



このマークは、Kumamoto Construction Technology Centerの頭文字をデザイン化したものです。
色は火の国熊本の心と風土を「清らかな水を青」「美しい自然を緑」「情熱を赤」として、この3つの要素を活かして発展していくことを表現しています。

一般財団法人 熊本県建設技術センター

〒861-4214 熊本県熊本市南城区南町舞原字東194番地

<http://www.kuma-ctc.or.jp/>



車の場合

- 熊本空港より ▶ 益城熊本空港IC経由、城南SIC下車の経路は車で約35分(約27km)
▶ 一般道利用、車で約45分(約25km)
 - JR熊本駅より ▶ 一般道利用、車で約30分(約16km)
 - JR宇土駅より ▶ 一般道利用、車で約20分(約10km)
- ※目安時間に交通渋滞は考慮されていません。



バスの場合

- 桜町バスターミナルから舞原団地前(バス停)までバスで45分
舞原団地前(バス停)から徒歩で10分(約14km)
- 南熊本(バス停)から舞原団地前(バス停)までバスで40分
舞原団地前(バス停)から徒歩で10分(約12km)

総務部 / TEL.0964-28-6926

研修部・企画業務部 / TEL.0964-42-9030 · FAX.0964-28-7260

試験部 / TEL.0964-42-9040 · FAX.0964-28-2428

[作成年月日：令和8年4月1日]